

公益社団法人日本青年会議所関東地区 栃木ブロック協議会

とちぎ情報発信委員会

事業報告

とちぎ情報発信委員会 委員長 松本康功

□委員会設置の背景

栃木ブロック協議会では、積極的に各地のJC運動を市民に発信してきました。効果的にJC運動を地域に伝播するためには、発信媒体を見極め、情報発信の精度を高める必要があります。

□事業内容

①LINE@の運用

開催日：1月15日～12月15日

事業目的：

- ・運動を効果的に活動地域、活動地域外の市民に伝播すること。
- ・栃木ブロック協議会、栃木県内11LOMの運動を効果的に発信すること。

内容：

- ・栃木ブロック協議会・11LOMが行う事業の告知、経過等の発信
- ・その他、会長が必要と判断した案件の発信（災害時における情報等）

②とちぎコレクション（とちコレ）

開催日：9月2日（日）場所：黒磯文化会館 小ホール、厚崎公民館

事業目的：

- ・地域の垣根を超え各地域にある資源を発見、理解することで地域資源への関心を更に高めるきっかけとし今以上に地域の魅力に気づくこと。
- ・栃木県内にある地域資源を知っていただくことで、我々の身の回りにある資源に誇りを持ち、より自分たちの地域だけでなく県内すべての魅力について理解を深めることで、栃木をより魅力的に感じてもらうこと。

内容：

とちぎフォーラム2018にて、地域資源をテーマとし、栃木県内の染物を使用し服飾の作成、リメイクをしていただき、各地の地域資源である靴、アクセサリ、鞆、髪飾り等をしようしコーディネートをしていただきます。一部ではモデルを10歳以下、二部ではモデルを11歳以上とし事業を実施します。更にとちコレでコーディネート時に使用させて頂いた商品を「物販ブース」にて販売していただきます。新たな魅力となった地域の資源を参加者やメンバーが情報発信を行う

□最後にまとめとして

とちぎ情報発信委員会は、「人材育成と地域創生による持続発展する栃木の実現」に向けて邁進してまいりました。

通年事業として栃木ブロック協議会、県内各地青年会議所の様々な事業をSNSを活用し発信して参りました。

また、9月には地域ブランドの価値を高める事業（とちコレ）を実施しました。我々が率先して地域を超え地域資源を組み合わせることで地域の魅力を更に掘り起こすことができました。